

月刊 はあとふるあたご

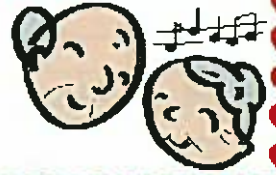
2月 第7号 <発行>平成18年1月20日

<4事業部編>

<発行元>〒950-2041 新潟市坂井東6-23-12 <発行者> 4事業部内編集委員会

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(268)8880 FAX025(268)8887



・書 「花月」

グループホーム新津 お客様

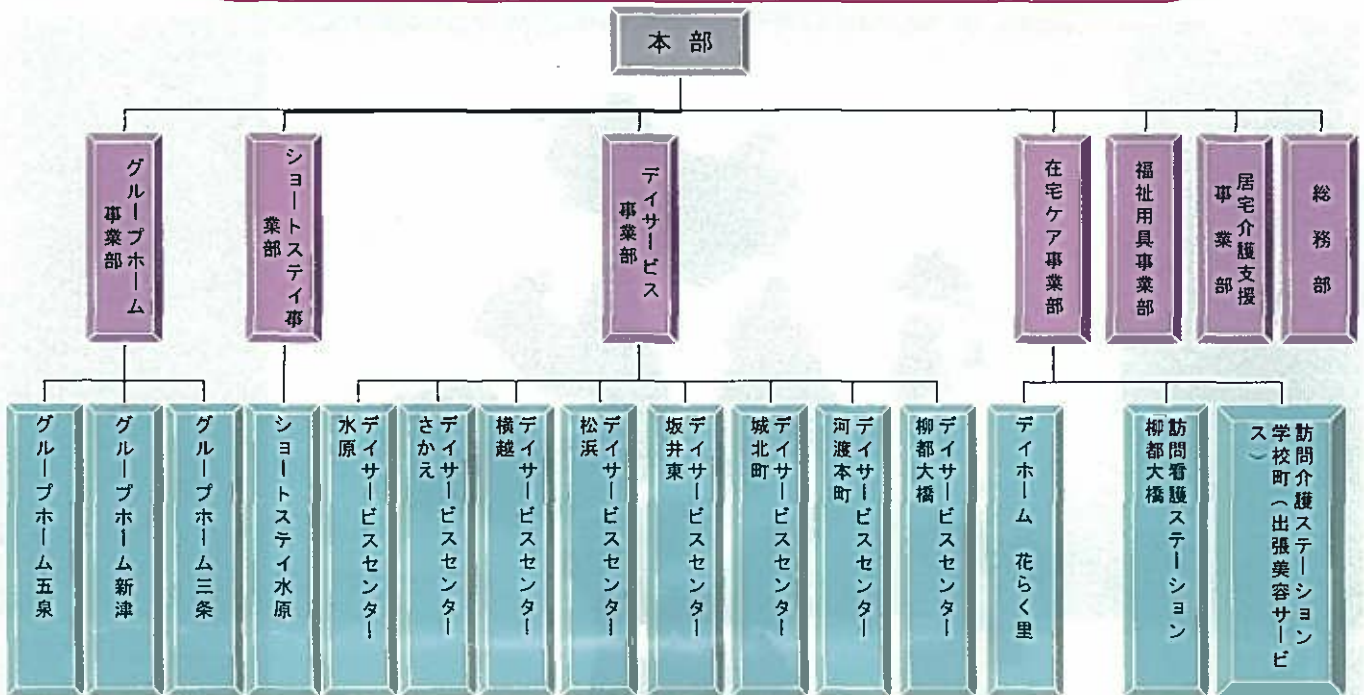
目次

経営理念	2	伊東先生のコラム 第6回	10
職員紹介	2	介護保険法の改正について	11
事業所だより	3	ふるさと散歩 第6回	12
シリーズ 私の自慢	9	編集後記	12

株式会社はあとふるあたご

<経営理念>

わたしたち はあとふるあたご は、
『“人”を一番大切にします』
これが、わたしたち はあとふるあたご の基本理念です。
すべての社員が
はあとふるあたご で働くことに幸せを感じます。
わたしたちが幸せに働けるのは、
私たちを必要としてくれるお客様がいらっしゃるからです。



職員紹介 No.6

デイサービスセンター城北町 石崎 徳幸

皆様、こんにちは。

昨年の4月からデイサービスセンター城北町のセンター長を務めさせて頂いております。

新潟市の高校を卒業してから20年以上、東京・千葉で生活をしておりましたが、この度ご縁があり新潟に戻って参りました。久々の里帰りという事で、まさに浦島太郎状態ですが、皆様の暖かい励ましの下、日々頑張っております。

私の趣味はカラオケです(上手くはないですが・・・)。デイサービスセンター城北町では良くカラオケ大会を開催しますが、私も仕事を忘れてつつい、飛び入りで参加させて頂いております。お客様からの評判・・・それはご想像にお任せします。

これからも、お客様の視点に立ったサービスの提供を心掛け、元気で、笑顔一杯のセンターを目指して参ります。宜しくお願い致します。



事業所だより

デイホーム花らく里・訪問介護ステーション学校町

私共デイホーム花らく里では、レクリエーションの時間に手芸を楽しんでいただいています。

今年は戌年ということもあり、先日お客様と一緒に小犬の置物を作りました。

発泡球(頭・胴)に布やフェルトを貼り、目・鼻にはボタンをつけ、和柄の『ちゃんちゃんこ』を着せ、とても可愛らしい小犬が完成しました。

とても細かい作業にもかかわらず、お客様は真剣に取り組んでおられました。

今後もいろいろな手芸をお客様と一緒に楽しんでいきたいと思っております。

デイホーム花らく里・訪問介護ステーション学校町

管理者 斉藤 聡子

〒951-8126 新潟市学校町通2番町5308番地19

電話 025-226-6667 FAX 025-226-6669

E-mail gakocho.kaigo@heartfull.jp

訪問看護ステーション柳都大橋

★お客様にあったリハビリテーション・メニューのご提案

私どもの訪問看護ステーションでは、リハビリテーションのご希望があったお客様に対し、必要に応じて定期的にお体のご様子を診させて頂くことで、ご本人様に合ったリハビリテーション・メニューをご提供させていただいております。

「リハビリ＝筋トレ」というような通り一辺倒の対応ではなく、正確にお体の状態を把握することで、適切で計画的な治療を行なうことが、「リハビリテーション」を提供するうえでとても大切なことであると考えているからです。

今後とも、どうぞ「訪問看護ステーション柳都大橋」をよろしく願い申し上げます。



訪問看護ステーション柳都大橋

主任 柏谷 和代

〒951-8051 新潟市新島町通三の町2284番地

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

E-mail ryuto.kango@heartfull.jp

グループホーム三条

★餅つきで新年の準備

昨年(2023年)の12月27日に、お客様を中心として餅つきを行ないました。

皆様の元気な掛け声と共に、みるみるうちにお餅が出来上がっていきます。

普段はあまりお手伝い(ボランティア)に乗り気でないお客様も、一年を締めくくり、新しい年を迎える準備ということで、こぞって参加されました。

男性の方は杵を持ち、女性の方はできたお餅を丸めると、賑やかに作業が進みました。



出来たお餅はもちろんお正月用ですが、残りはその場できな粉やあんこで頂きました。

出来立ての柔らかいお餅は、皆様の表情も柔らかくするようで、「柔らかくて美味しいね」と笑顔がいっぱいの年の瀬でした。

グループホーム三条

管理者 渡邊 美奈子

〒955-0084 三条市石上2丁目15番1号

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

E-mail sanjo.gh@heartfull.jp

グループホーム五泉

私たちグループホーム五泉では昨年(2023年)の12月28日に餅つき大会を行いました。お客様18名に加えご家族様もお招きし、総勢30名の大行事でした。



およそ2升のもち米が、皆さまのかけ声と共にみるみる美味しいお餅に変わっていききました。

二つの大きな鏡餅を作り、残りをきな粉やおしるこで召し上がっていただきました。

皆さま大満足のご様子でその時間を楽しまれました。

1月11日の鏡割りの日に鏡餅はおかきにしていただきました。

その他、正月の飾りつけで門松を作ったりとお正月ならではの楽しみを満喫しました。

グループホーム五泉

管理者 阿部 誠弘

〒959-1825 五泉市太田2丁目1番3号

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

E-mail goson.gh@heartfull.jp

グループホーム新津

ホワイトクリスマスとなった12月25日、グループホーム新津では、クリスマス会を開催しました。

今年のクリスマスケーキは、お客様それぞれに飾り付けをしていただき、個性あふれるご自分だけのクリスマスケーキとなりました。

「おめさんの、いいねっかねえ。」と完成したケーキを見ながらお話をしていました。

スタッフのケーキも、お客様に飾り付けをしていただきました。

シャンメリーで乾杯し、あっという間に食べ終わってしまいました。

そして、「きよしこの夜」や「ジングルベル」などの歌を歌って、クリスマス会は終了となりました。

クリスマス会のあと、希望されるお客様にサンタの衣装を着ていただきました。

うれしそうに、鏡の中のサンタクロースを眺めていらっしゃいました。

グループホーム新津

管理者 木根 幸子

〒956-0012 新潟市荻野町2番26号

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

E-mail niitu.gh@heartfull.jp

デイサービスセンター柳都大橋

去る12月19日 クリスマスのイベントとして、当デイサービスの近くにある礎(いしづえ)保育園の園児さんたちが、遊びに来てくださいました。

年少さんから年長さんまであわせて20名の園児さんたちが、お遊戯を見せてくださいました。お揃いのかわいい衣裳を着て、大きなかけ声でジャンプしたり手をたたいたりクルリとまわったりと、とても元気に音楽に合わせて上手に踊ってくださいました。

そのお礼にと、手作りのプレゼントをお客様から、園児さん一人一人に渡していただきました。

園児さんたちに握手していらっしゃるお客様のお顔はとても和やかで、ほほえましい光景でした。



最後に園児さんたちからも、ポインセチアのプレゼントをいただき、「皆様これからもずっとお元気で長生きしてくださいね。」という言葉に感動して涙ぐまれる方もいらっしゃいました。

デイサービスセンター柳都大橋 センター長代理 高橋 裕子

〒951-8051 新潟市新島町通三の町2284番地

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

E-mail ryuto.day@heartfull.jp

デイサービスセンター河渡本町

去る1月6日(金)、デイサービスセンター河渡本町では豊扇会様、栄会様をお迎えし、踊りを披露して頂きました。

「箱根八里の半次郎」、「ずんどこ節」などお客様にも人気の氷川きよしの曲をはじめ、9曲の踊りを披露して頂きました。お客様の中には、一緒に踊られる方もいらっしゃり、踊り手の方と「どこで踊りやっていたの？」などと、お話をしていました。



1曲ごとに着物や袴に衣装が変わり、踊りだけでなく色鮮やかな衣装もお客様は楽しまれていました。その後のお茶の時間も踊りの話で盛り上がり、皆様に楽しい一時を過ごして頂けたと思います。今後もお客様、ボランティアの方と共に楽しい一時を過ごしていけるよう努めていきたいと思っております。

デイサービスセンター河渡本町 センター長 成田 洋子

〒950-0016 新潟市河渡本町 17 番 37 号

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3002

E-mail kodo.day@heartfull.jp

デイサービスセンター城北町

新発田市は例年になく大雪となり、寒さ厳しい日が続いております。

私どもデイサービスセンター城北町では、センター到着後、お客様に「うがい・手洗い」をして頂いております。

街ではインフルエンザが流行っていると聞きますが、皆様元気に来所され、職員一同、元気なお客様に毎日会えることをとても嬉しく思っております。

昨年、お客様からご家庭で使わなくなったレーザーカラオケをご寄付頂きました。

お客様の青春時代の懐かしい歌が、いつもセンター内に流れております。



立ち止まって歌を口ずさむお客様や、「前は歌には興味なかったが、城北町に来るようになって覚えた」と、新しい楽しみを持って下さったお客様もいらっしゃいます。

今後も、お客様に楽しみや喜びを感じて頂ける空間作りをしたいと思っております。

デイサービスセンター城北町 センター長 石崎 徳幸

〒957-0051 新発田市城北町3丁目3番31号

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

E-mail shibata.day@heartfull.jp

デイサービスセンター坂井東

★「ご家族新年懇親会」開催

1月9日(月)、デイサービスとしては初めての試みである、「お客様・ご家族様新年懇親会」が、夜6時から7時半まで、当デイサービスのホールで開催されました。

当日は雪の中、当施設ご利用のお客様3名、ご家族様4名の計7名様にご出席賜りました。当社からは木村社長をはじめ木村事業部長、稲野センター長代理等4名が出席させて頂き、飲み物や食事をはさんで、なごやかな1時間半を過ごしました。

席上ご家族様からは、職員のサービス内容、時間延長、リハビリに関する件など、切実なご意見・ご要望を賜る事ができました。

お客様、ご家族様の率直な声をお聞かせいただく機会として、このような集まりを今後も開催していくこととお約束し、最後は全員によるビンゴゲームを楽しみながら盛況の内に終了いたしました。次回はさらに多くのご出席をお待ち申し上げます。

デイサービスセンター坂井東 センター長代理 稲野 正晃

〒950-2041 新潟市坂井東6丁目23番12号

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

E-mail sakai-e.day@heartfull.jp

デイサービスセンター松浜

★七草粥でお正月

私どもデイサービスセンター松浜では、1月6日7日の両日、七草粥をお出しいたしました。

古くは江戸時代より、無病息災と豊年を祈願して食べられた七草粥。日本古来のハーブを用いて、しかも胃腸への負担の少ないお粥で頂く事で、お正月疲れの胃腸を回復してくれます。

お客様からは「家ではなかなか食べられないのでよかったよお」とのお褒めの言葉をいただきました。

私どもは、昨年以上に心のこもったお付き合いをさせて頂きたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

デイサービスセンター松浜 センター長 荒尾 和志

〒950-3112 新潟市太夫浜字上浜山1674番地4

電話 025-255-7701 FAX 025-225-7705

E-mail matsuhama.day@heartfull.jp

デイサービスセンター横越

私どもデイサービスセンター横越では、12月にクリスマス会を行いました。

あるお客様の提案で、お客様も職員もドレスアップしてクリスマス会に参加しました。昼食後のお昼寝もそこそこの、クリスマス会開始の二時に間に合うようにと、ドレスに着替え、化粧をし、髪をセットしてと、皆様生き生きとしていらっしゃいました。



また当日は、他のデイサービス職員が、ボランティアとして歌を披露してくれました。用意した歌以外にも、お客様のリクエストにも応え、「なごり雪歌って～」という声があれば、即座にギターで弾いて皆様と一緒に歌い楽しんでおられました。

私どもはボランティアを募集しています。どのような内容でも結構ですので、是非一度ご相談ください。お待ちしております。

デイサービスセンター横越 センター長 成田 洋子

〒950-0211 新潟市横越川根町1丁目1番25号

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

E-mail yokogoshi.day@heartfull.jp

デイサービスセンターさかえ

今月のデイサービスセンターさかえからは、ちぎり絵や手芸・ジグソーパズルなど様々な個別レクに取り組んでおられるお客様をご紹介しますと思います。

このお写真の K 様は左手がご不自由ですが、とても器用で頑張り屋な方です。調理の下ごしらえや洗濯物たたみなど、いつでも何に対しても快く、そして意欲的にお手伝いして下さいます。最近では手芸用の糸を使い、親子亀を作っておられます。隣の席に座られた方に協力して頂きながら、きれいに、そして手早く仕上げられておられるご様子に、職員はもちろん他のお客様も、いつも感心されております。

センターには K 様が作られた作品が数多く展示してあります。素敵な作品がセンター内を和やかな雰囲気にしてくれます。

デイサービスセンターさかえ センター長 山崎 正子

〒959-1108 三条市大字北潟字樋下甲282-1

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

E-mail sakae.day@heartfull.jp

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

先日、ケーキ作りのレクリエーションを行いました。ケーキのスポンジに生クリーム、フルーツをお好きなように飾り付けをしていただきました。フルーツやクリームを様々な形にされたり、スポンジに載せる量を多めにされたり、少なめにされたりと、作る方の個性あふれる、世界にひとつだけのオリジナルデコレーションケーキが出来あがりました。

試食では、互いの出来についての話で盛り上がり、「おいしいね。自分で作ったのは一味違う」と言われておりました。



・ボランティアをしていただける方を募集しております。どんなボランティア内容でも結構です。一度、下記連絡先までご相談ください
・デイサービス、ショートステイ御利用をご希望される方、利用日に余裕がございますのでどうぞご利用ください。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

センター長 佐久間 知也

〒959-2022 阿賀野市外城町21番2号

電話 0250-62-8888(デイ)

0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

E-mail suibara@heartfull.jp

シリーズ 「私の自慢」 No.7

「書道」

グループホーム新津 お客様 A 様

A様は、小さい頃から、図画や書き方を得意とし、昭和三年、小学校五年生の頃、図画で各学年の代表として選ばれ全国大会に出品され、優秀ということで表彰されたことが、自慢の一つとおっしゃっています。

書道については、先生に就いて習ったことはないそうですが、昔から書くことを得意とされ、私どもグループホームの文化祭でも、すばらしい作品を出品して下さいました。

今号の表紙を飾る作品も、この為に書いていただいた物です。

これからもいろいろな作品を書いて下さるものと期待させていただきます。



伊東先生のコラム 第6回

医者 of 遍路旅

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

今は、四国八十八箇所霊場めぐり(お遍路)が結構はやっています。私は約10年前に四国お遍路道1300kmを歩こうか、東海自然歩道1300kmを歩こうか悩みました。その結果、東海自然歩道を選びました。東海自然歩道は東京から京都までの山道をひたすら歩く道。私はそちらを歩きました。

しかし、その前哨戦として、奥秩父三十四観音めぐりのお遍路旅をしました。私は3泊4日で100kmの歩き旅をしました。今日はそちらのお話をしましょう。

江戸時代の人は大体1週間掛けて旅をしたそうです。私は既に日本列島歩いて横断などしていたので歩く早さが時速7kmくらいになっていたもので短時間で歩くことができました。

白装束・頭陀袋・数珠・御朱印帳・金剛杖・鈴など一そろえで2万円程度。

私は、一番寺で最初の納経を行った。本来なら写経をした経文を納めるのであるが、納経札で代用とする。誰もいない境内で消え入りそうな声で般若心経を読む。誰もいないのであるが気恥ずかしさが前に立ち次第に声が小さくなりついには声が出なくなる。後ろから御住職が「ここには観音様とあなたと二人しかいないのだ。これから100kmにも及ぶ旅にできるあなたがそんな事でどうする。」と声を掛けてきた。私は、やけになって大声でお経を読み終えた。振り返ると優しげに微笑む御住職がいた。私はそこから長い長いたびに出た。

足には5cmにも及ぶマメができた。もっていたナイフで水泡を潰し中に溜まった水を出した。(医者は本当はマメを潰すことはお勧めしないのであるが、歩いている私は医者ではなかった)夕暮れ時の境内はいつもひっそりとしていて怖いくらいである。私が町を歩いているとお年寄りが拝んでくれる。私も拝み返した。何か次第に現世と離れていく感じがした。夕刻の境内。ひたすら続く山門の階段。雨の道。

心洗われるたびであった。最期のお寺で、金剛杖・数珠・白装束などを納めて結願(けちがん)となるのであるが、その喜びといったら言葉では言い表せない。私は、この巡礼で得た御朱印帳を父の葬儀のときに棺桶の中に納めた。御朱印帳の紫の色が父の遺骨に移り父の遺骨はうっすらと紫色に染まっていた。



＜介護保険制度の改正について＞NO.1

平成12年4月に発足した現行の介護保険制度が6年を経過し、今年4月から大幅に改正されることになりました。シリーズでそのあらましを解説してみたいと思います。

1) 介護保険制度の現状

現在の介護保険制度が発足した時点(平成12年4月)の第1号被保険者数(65歳以上)は約2,165万人、それが平成16年10月時点では約2,478万人と約313万人、14.5%の増加を見せております。

	平成12年4月	平成16年10月	増加	
			増加数	構成比
要支援	29万人	65万人	36万人	19%
要介護1	55万人	131万人	76万人	41%
要介護2	40万人	60万人	20万人	11%
要介護3	31万人	51万人	20万人	11%
要介護4	34万人	49万人	15万人	8%
要介護5	29万人	47万人	18万人	10%
合計	218万人	403万人	185万人	100%

今後団塊世代が待機しており、その増加力一歩が急上昇することは、十分予想されます。この経緯を認定者数で見ると上の表のようになります。

表でお分かりのように認定者数はその間54%増加していますが、その中で要支援、要介護1の軽度の認定者数が特に大きく増えています。構成比では平成12年度では全体の38.5%を占めていましたが、平成16年度では60.5%と22%も増えたこととなります。又それに伴い介護保険の総費用額もこの4年間で3.6兆円から6.3兆円と75%もの伸びになっています。

今回の介護保険法の改正は、膨らんだ介護保険の総費用の増加を抑えるとともに、要支援、要介護1の軽度の認定者のレベルの低化を防ぎ、明るく活力のある超高齢者社会を目指すために、予防介護という考えを重視したシステムを導入することが最大のポイントといえます。(以下次号)

福祉用具事業部からのご案内

今回は、「TOTO製のウォシュレット付ポータブルトイレ」を、ご紹介致します。

寒い季節を迎え、お部屋の中でも温水シャワー付きで、おしりを快適・清潔に保ち、より気持ち良く在宅で過ごせるお手伝いをさせていただきます。



ウォシュレット付ポータブルトイレ

- 洗浄位置調節機能とムーブ洗浄機能で、おしり位置に合わせて、しっかり洗えます。
- 移動の際に便利なキャスター付き。(後脚部)
- 強力脱臭付き(自動運転)。
- ひじ掛け高さ、座面高さ、背もたれ前後調整可能です。

※ 介護保険購入対象品(購入限度額 年間9万円)

メーカー希望価格 134,400円(税込)

温水シャワー

暖房便座

パワー脱臭

サイズ /幅57.8×奥行64.8
高さ 76.6/79.8/83cm
座面高さ 40/36.8/33.6cm(3段階調節)
質量:25kg 給水タンク容量:3.5L バケツ容量:12L

お問い合わせは 福祉用具事業部 柳都大橋 025-228-5002

新発田 0254-23-1173

上越 025-531-0688



ふるさと散歩 第6回

★新潟市北地区

デイサービスセンター松浜のある新潟市北地区周辺は、阿賀野川や新井郷川を新潟市中心部と挟んでおります。

したがって数々の橋が懸かっていることとなります。

皆様ご存知の松浜橋。この橋は昭和21年に開通しています。今やシンボルのような橋です。

松浜橋を渡って北地区に入ってくると、またまた新井郷川に懸かる数々の橋が目に入ってきます。大正橋、松港橋、新井郷川橋、新元島橋、名目所橋…。この数々の橋が松浜周辺の雰囲気醸し出しております。

北地区には太夫浜の安古左衛門の地蔵や石原倉右衛門の碑そして西郷隆盛宿营地の碑など数々の歴史もあります。

2と7の日に開かれる「松浜市場」は、松浜を堪能するには一番の人情味と活気があります。また阿賀野川を挟んだ新潟空港の対岸の「あかしあ公園」では川面に映る「逆さ夜景」も楽しむことができます。みなさま一度足を運んで見ませんか。



一緒に働く仲間を募集しています！

私たち、はあとふるあたごでは、

一緒に仕事をする仲間を募集しています。

看護師、介護職員の他、理学・作業療法士、言語聴覚士、あん摩マッサージ師、音楽療法経験者等大歓迎です！

■応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051 新潟市新島町通3ノ町2284番地

（株）はあとふるあたご 採用係

介護サービスの

 はあとふるあたご

<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

編集後記

今年度は6年振りに4月に大幅な介護保険法が改正されます。

詳細については未知数ながら、現状わかる範囲での解説記事を今号から数回にわたり掲載したいと思います。

的外れな部分もあるかと思いますが、是非ご意見等お待ち申し上げます

<連絡先> デイサービスセンター坂井東
電話 025(268)8880 FAX 025(268)8887

<編集委員>

稲野正晃(デイサービスセンター坂井東)

阿部誠弘(グループホーム五泉)

難波 淳(グループホーム三條)

金 幸夫(デイサービスセンター坂井東)